

木曾教育会 道徳・人権教育委員会

①事業計画

(1)木曾郡道徳教育研究協議会の開催

- ・ 指導案や実践レポートを持ち寄り、上記の研究の視点を踏まえて討議し、テーマに迫る。
- ・ 道徳教育推進上の悩みなど日常に生きる内容にする。

(2)郡内各校の情報交換、発信

- ・ 研究協議会当日の様子やアンケート結果等を研究のまとめに記載する。

(3)研究日程の概要

第1回	4月14日(月)	総委員会、活動内容、日程の確認
第2回	5月13日(火)	研究テーマ、活動計画の決定、郡研究協議会について
第3回	7月 1日(火)	郡道徳教育研究協議会打ち合わせ
第4回	7月30日(水)	郡道徳教育研究協議会(準備、片付け、反省)
第5回	11月11日(火)	研究のまとめ

②報告・研究のまとめ

(1)明らかになったこと(道徳教育研究協議会)

・「どうして」「なぜ」といった発問だけでなく、この材を使ってどういった発問にするのか、どこを狙っていくのかを明らかにすることで、道徳的価値に迫ることができる。

・目標を何にするのかによって発問が異なる。授業の入り方や発問を切り口にするなどで、比較検討しやすくなる。

・クラスの実態や学校行事に合わせて題材を選ぶとよい。

(2)今後の課題

①授業内の「教師の発問」に関して

研究協議会の中では発問についての難しさが話題として挙げられた。その一つに指導書の発問通りに授業を行っても授業がうまくいかないという意見が出た。教師が道徳の教材研究を進めていくときは、教科書通りではなくクラスの実態や内容項目に合わせて教師自身が発問を考えていくことの必要性や重要性を再認識した。子どもたちがより深く考えられるような発問を問い続けていく。